

2026年5月29日  
株式会社 電通グループ

**ADFEST 2026** において、佐々木康晴が最高審査委員長に選出  
－ 電通グループ、5年連続10度目となる「ネットワーク・オブ・ザ・イヤー」を受賞 －

株式会社電通グループ（ブランド「dentsu」、本社：株式会社電通グループ、拠点：東京都港区、代表者：代表執行役 社長 グローバルCEO 佐野 傑、以下、当社およびグループ会社を総称して「電通グループ」）のグローバル・チーフ・クリエイティブ・オフィサーである佐々木 康晴が、アジアを代表するクリエイティブの祭典、「ADFEST<sup>※</sup> 2026（アドフェスト2026）」の最高審査委員長（グランド・ジュリー・プレジデント）、および以下の4ロータス（部門）の審査委員長に選出されました。

佐々木は、国際的に卓越した実績と影響力を持つクリエイティブ・リーダーの中から最高審査委員長に選出され、審査委員長をリードすると共に、ADFEST独自の部門である「ロータス・ルーツ」および「ヒューマニティ・グランデ」の審査を統合的に主導する役割を担いました。

クリエイティブ・ストラテジー・ロータス	創造的な問題解決力を審査
エフェクティブ・ロータス	重要かつ測定可能な影響力を審査
イノーヴァ（イノベーション）・ロータス	市場に劇的なインパクトを与えた真の革新性、実施結果のレベルを審査
サステナブル・ロータス	SDGsを踏まえた変革推進力および世界へのポジティブな影響力を審査



さらに、タイのパタヤで3月19～21日に開催された表彰式では、電通グループはグループ全体として最も優れた成果を収めたネットワークに贈られる「ネットワーク・オブ・ザ・イヤー」も受賞しました。なお、当社グループの受賞は5年連続10度目となります。

また、当グループの日本事業を統括・運営するdentsu Japanの中核企業である株式会社電通は、エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞と、イーストアジア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞の最高賞を、海外事業におけるクリエイティブエージェンシーブランドであるDentsu Creativeのインド拠点であるDentsu Creative Indiaは、メディア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞と、サウスアジア・エージェンシー・オブ・ザ・イヤー賞を、それぞれ受賞しました。

詳細は以下をご覧ください。

「電通、アジア太平洋広告祭『ADFEST 2026』においてAgency of the YearとEast Asia Agency of the Yearの最高賞2冠を受賞」（株式会社電通プレスリリース、2026年03月25日）

<https://www.dentsu.co.jp/news/release/2026/0325-011020.html>

「ADFEST 2026：佐々木康晴が語った、AI時代における『ブランドの人間化（Humanizing Brands）』」（電通報、2026年4月23日）

<https://dentsu-ho.com/articles/9705>

※アジア太平洋広告祭(Asia Pacific Advertising Festival)、通称ADFESTは、1998年に創設されたアジア（太平洋および中東を含む）における主要な広告賞の1つです。詳細は、ADFESTのホームページをご覧ください。

URL：<http://www.adfest.com/>

以上

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通グループ グループコーポレートコミュニケーションオフィス 小嶋、島津、原田

Email：[group-cc@dentsu.com](mailto:group-cc@dentsu.com)